

令和5年度 西柴地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

エリアは、漁港を営み古くから住まれている住民と団地や市営住宅、大型マンション等が混在する地域です。各自治会・町内会は、熱心で活動的な住民が多く、ホームページや町内会活動も盛んなエリアです。しかし一部のエリアでは、高齢化が進んでおり現在の活動が次世代につなげることが今後の課題と考えます。また、合築の施設である機能を活かし子ども・障がい・高齢者そして特養に入居されてる方が交流し集える場をつくり、見守り、支えあえる地域を目指して参ります。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	□	地域のニーズに沿った事業・講演会や講座を開催する。
■	□	8050問題を含む深刻化した課題を地域住民、関係機関、行政、警察とネットワークを組み取り組む。
■	□	見守りホルダー「みなとホルダー」の普及啓発の促進と地域全体での見守り体制の構築を目指す。
■	□	地域住民に認知症の理解と認知症の方を見守り支える地域づくりを目指す。
■	□	合築である特性を活かし地域住民と特養の入居者が交流できる場をつくる。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

令和5年3月より合築施設である西柴地域ケアプラザ・西柴コミュニティハウスが開所し、地域への周知活動及び地域ニーズや課題を把握することを念頭に取り組みました。周知活動として、積極的に地域サロン等に出向いたり、SNSを活用した事業開催の案内、事業の様子の発信を行いました。またエリアによって課題が違うこともわかり、来年度も地域の誰もが安心して暮らせるよう福祉・保健の拠点として、地域住民とのネットワークを構築し、支えあう地域づくりに取り組んで参ります。

□ 区からのコメント

開所1年目ということもあり、積極的に地域に出向かれケアプラザの周知と関係構築に務められました。また各種講座等でケアプラザへの来所を促し、来館者に限らずあらゆる機会を通じて地域の課題やニーズの把握に務め、出前講座や自主事業に発展させました。次年度は個々の繋がりを土台に安心して健やかに暮らせる地域のネットワーク構築を更に進めていただきますようお願いいたします。

「みなとホルダー」を媒体とした見守り体制の構築や、支援者・支援機関を招いた包括レベル地域ケア会議の開催を通して、支援者間の情報共有や顔の見えるつながりづくりが丁寧に進められています。今後も地区による特徴や課題に応じて、解決に向けた地域づくりを進めていただきますようお願いいたします。